

令和6年度 大竹市避難の呼びかけ体制 実施要領

1 避難の呼びかけ体制とは

令和2年度から、広島県消防保安課が各市町と共同で推進中の事業です。

平成30年7月豪雨の教訓に基づき、住民に早めの避難を促すため、呼びかけを開始するタイミングや、呼びかけ方法などのルールを決めて、自主防災組織が大雨災害に対して、効率的で効果的な呼びかけを行う仕組みのことであります。

各々の組織にあった呼びかけ体制をつくるには、起こりうる災害や組織体系、地域の状況などを考慮して、ルールを決めていく必要があります。

呼びかけ体制は、次の5つのステップで構成されます。



2 大竹市の訓練方法（ステップアップ訓練）

これまで、呼びかけ体制事業として、セミナー（step1）、集合訓練（step2・3）、ステップアップ訓練（step2・3・4・5）の構成で実施して来ましたが、環境の変化に対応するため大幅な見直しを行いました。今年度から以下の構成に変更します。

細部は、別紙1（令和6年度 ステップアップ訓練実施要領）のとおりです。

| Step | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | その他 |
|-----------|----|-----------------------------|-----------------------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | | 防災意識の醸成 | 地域特性の把握 | 呼びかけ体制づくり | 呼びかけ体制の実践 | 呼びかけ体制の検証 | |
| ステップアップ訓練 | 構成 | 個別研修 | | | 呼びかけ訓練 | | 個別相談指導 |
| | | 防災基礎研修 | 地域防災タイムライン 組織づくり指導 | | | | |
| | 内容 | 従来からの土砂・洪水対応に、新たに地震・津波対応を追加 | | | | | |

単一の自主防災組織毎に実施します。

3 避難の呼びかけ体制にかかわる補助金について

今年度から、補助金の希望調査は行いません。補助金を申請する場合は、別添（令和6年度大竹市避難の呼びかけ体制 補助金交付要領）に従い、期限日までに申請を行って下さい。ただし、予算に限りがありますので、提出された書類を審査し、適正と判断した団体から受理を行い、定数に達したところで締め切りとさせていただきます。

令和6年度 ステップアップ訓練 実施要領

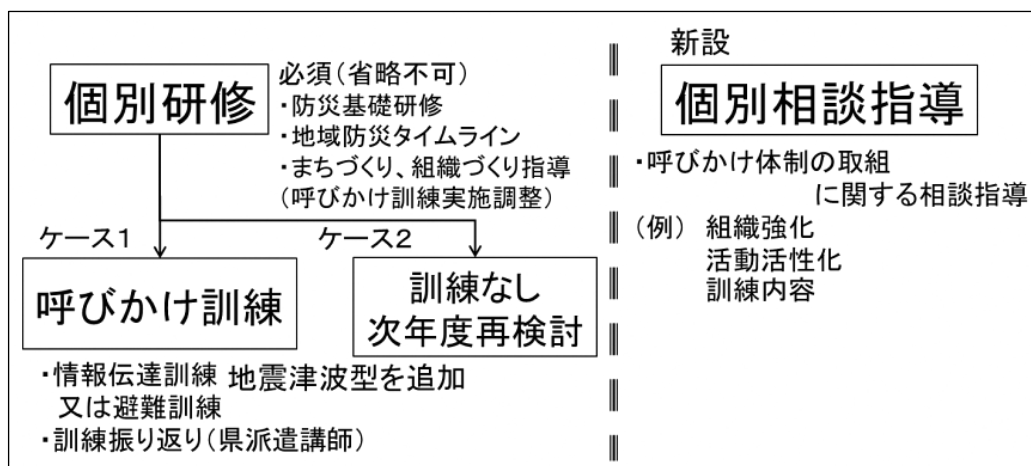
1 訓練名

令和6年度 避難の呼びかけ体制 ステップアップ訓練

2 対象

全ての自主防災組織

3 訓練項目



細部は別紙2のとおり

4 希望調査

期 限：令和6年7月26日(金)(希望しない場合も回答をお願いします。)

回答方法：別紙3(希望調査票)を記入し、危機管理課へ郵送・FAX又は持ち込みで提出

※ 今年度から、希望調査は個別相談指導・個別研修・呼びかけ訓練のみを実施し、補助金の希望確認は行いません。補助金を申請する場合は、別添(令和6年度 大竹市避難の呼びかけ体制 補助金交付要領)に従い、期限日までに申請を行って下さい。ただし、予算に限りがありますので、提出された書類を審査し、適正と判断した団体から受理を行い、定数に達したところで締め切りとさせていただきます。

令和6年度 ステップアップ訓練 細部要領

1 個別研修

| 時間 | 実施項目 | 講師 |
|-----|-----------------------|-------------------|
| 60分 | 防災基礎研修 | 大竹市 危機管理課職員 |
| 30分 | 地域防災タイムライン説明 | 広島県 自主防災アドバイザー |
| 90分 | まちづくり・組織づくり指導 ※ | |
| 30分 | 呼びかけ訓練実施調整(訓練をする場合のみ) | |

※ DIG/WS未実施の4組織(小方2、大人原大迫、広原、谷尻)が参加する場合は、DIG/WSを含めた内容で実施

※ DIGとは、Disaster Imagination Gameの略で、直訳すると災害・想像力・ゲームとなります。この訓練では、地域にどのような災害リスクがあり、どこが危険でどこが安全か、ハザードマップ等を使用し、地図の上で地域の状況を把握する作業を行います。WSとは、英語のWorkshopで、直訳すると「作業場」となりますが、「参加者が主体性をもって参加するイベント」の意味で使用しています。この訓練では、共同作業の形式で「呼びかけのタイミング」や「呼びかけの方法」など避難の呼びかけ体制に必要なルールを作り上げます。

2 呼びかけ訓練

参加する前に、個別研修の受講が必要です。

講師：広島県自主防災アドバイザー

| 標準的な時間 | 区分 | 訓練想定 | 一般的な地区 | | 土砂・洪水の恐れのない地区 |
|--------|----------------------|----------|--------|------|---------------|
| | | | 1年目 | 2年目～ | |
| 1時間 | 情報伝達訓練 又は 避難訓練 | 土砂 洪水 | 1年目 | 2年目～ | |
| | | 地震 津波 | | 2年目～ | 1年目 2年目～ |
| 30分 | 訓練振返り | | 要実施 | | 要実施 |

注意事項

1 必須事項

- (1) 呼びかけ訓練に参加する場合は、個別研修の受講が必要です。
- (2) 呼びかけ訓練は、災害発生前における呼びかけの実施が必要です。

2 優先事項

呼びかけ体制の性質上、土砂・洪水災害への対応を優先します。

- (1) 土砂・洪水災害の恐れのある地区
1年目は、土砂・洪水想定での訓練実施を実施し、2年目以降に地震・津波想定を選択可とします。
- (2) 土砂・洪水災害の恐れのない地区
初年度から地震・津波想定での訓練に参加可能です。

3 地震・津波想定 of 訓練方法

(1) 標準的な方法

「南海トラフ地震臨時情報（警戒・注意）」発表にもとづく「地震への備えの再確認」を呼びかけることで呼びかけ訓練を実施します。

(2) 補足事項

地震発生後の揺れに伴う避難行動は災害発生後の活動となります。呼びかけ訓練は、災害発生前に行うことを前提としているため、これだけでは呼びかけ訓練を実施したことになりませんのでご注意ください。

3 個別相談指導

講師：広島県自主防災アドバイザー

内容：呼びかけ体制の取組に関する相談指導

たとえば・・・組織強化に関する相談

活動活性化に関する相談

今後の訓練内容の検討に関する相談 など

呼びかけ体制事業に取り組むことを前提に、自主防災組織内の活動に関する相談指導を受けられることのできる制度です。ベテランの広島県自主防災アドバイザーが皆さんの相談に応じます。

実績（内容）

令和5年 2月 玖波5丁目（活動活性化の指導）

令和5年 3月 元町1丁目（訓練内容の指導「地震津波訓練」）

令和5年12月 玖波1丁目（活動活性化の指導）

希望調査票

訓練名 : 令和6年度 避難の呼びかけ体制 ステップアップ訓練

回答期限 : 令和6年7月26日(金) 必着

対象組織 : 全ての自主防災組織

不参加の場合も
回答して下さい。

Q1 組織名を記載して下さい。

| | |
|-----|--|
| 組織名 | |
|-----|--|

Q2 ステップアップ訓練への参加希望調査
該当する項目に○印を付けて下さい。

| 希望する | 今年度は見送りたい |
|------|-----------|
| | |

Q3 Q2で「希望する」を選択された組織は、下記について回答して下さい。

| 項目 | | 回答欄 ○印: 希望する 空白: 希望しない | 備考 |
|-----------|--------|------------------------------|---------------------------|
| ステップアップ訓練 | 個別相談指導 | | 単体で選択可能 |
| | 個別研修 | | 単体で選択可能 |
| | 呼びかけ訓練 | | 希望する場合は、個別研修にも○印を記載して下さい。 |

回答先 大竹市役所危機管理課

TEL : 59-2119

Fax : 57-7130